

新半田病院への交通アクセス調査特別委員会会議録

平成30年 8月22日(水)

午後 3時40分 開 会

○中川健一委員長

ただいまから、新半田病院への交通アクセス調査特別委員会を開会します。議事を始める前に、本日は、傍聴を希望する方がみえますので、許可したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

ありがとうございます。それでは、しばらく休憩します。

午後 3時40分 休 憩

午後 3時41分 再 開

○中川健一委員長

委員会を再開します。協議題1 調査事項についてを行います。先ほど市内視察お疲れ様でした。市内視察を踏まえて、何かご意見等ありましたらお願いします。

○山本半治委員

今後、具体的にどのような形で進めていったらいいか皆さんで確認をしたいのですが。

○中川健一委員長

そうですね。ただその前に、市内視察がどうだったかのおさらいを皆さんで共有したいと思います。

○山本半治委員

わかりました。そのようにお願いします。

○中川健一委員長

ありがとうございます。市内視察を踏まえて、学んだことや改善点などありましたらご意見をお願いします。

○成田吉毅委員

確認ですが、今日見に行った道は全て県が関わっている道路で、運動公園に近いところは市道。名鉄高架のところは阿久比町次第ということでよかったですか。

○村瀬浩之土木課長

まず、今日はじめに行ったところが柘町5の交差点、次が松堀町の交差点、次が南部市場からの急な上り坂の拡幅部分が市の対応部分です。その後行った岩滑中町の交差点と野崎の交差点、住吉町2の交差点は、県が事業主体となって行うところです。要するに、国道や県道など県が管理する道路の拡幅や交差点改良などは県が行います。

○鈴木幸彦委員

当局にお聞きしたいことがあります。前回7月13日の委員会で、市の部分は病院開院までに完成させるという話がありました。県の方は、前回の委員会から1回でも県との調整はあったのでしょうか。

○村瀬浩之土木課長

その後の何日に何があってと詳細には今言えませんが、数回、担当レベルで今後どのよう

に進めていこうかという話はしています。具体的に今ここでこのようになりましたとお示しできないのは申し訳ございませんが、今話をしている最中ではあります。

○小栗佳仁委員

高台へ登っていく道路はいろいろとアップダウンがあって、市道の部分を拡幅していく中で、例えば大規模災害が起こったとき、山を切り拓いた土地であるため、固さが違いひよっとしたら段差ができたリクラックが入ったりという心配があります。その辺りの調べはできているのでしょうか。また、住吉から上がったガソリンスタンドがある交差点の周辺で、ひよっとしたら大雨の時に水が流れ込み、救急搬送が可能かどうかは、市として検証できているのでしょうか。

○村瀬浩之土木課長

通常、道路整備をするにあたり、地震の断層などを確認して整備することは基本的にはしていません。現在、調査したかと言われますと、一切しておりません。

○小栗佳仁委員

断層云々だけではなく、山を切り拓いたり道路に土を盛ったりすると、地山との固さが違うのでどうしても道路にクラックが入ると思います。東北や神戸の大地震もそうです。南部市場の周辺が怖いと思います。

○中川健一委員長

災害拠点病院になるはずなので、大規模地震時にも道路が通行できるようになるのでしょうかという趣旨でよかったですか。

○小栗佳仁委員

そうです。その部分が漏れていました。

○新美保博委員

そこは切り盛りしているか。松堀町から先。いや、していないだろう。

○村瀬浩之土木課長

通常、道路を作る場合、下の地盤の固さはどうかといった調査をした上で設計しますので、基本的には大丈夫ですが、地震の時に段差ができるなど液状化の関係は、先ほども申し上げました通りそういった検討は今のところしておりません。

○中川健一委員長

しばらく休憩します。

午後 3時48分 休憩

午後 3時49分 再開

○中川健一委員長

委員会を再開します。

○村瀬浩之土木課長

道路の設計をしますので、調査結果で固さが違えば改良する等、均一な状態にしてその上に道路を作りますので、そのような心配はないかと思います。

○山本半治委員

今日はメインの道路を視察しましたが、その他、常滑の病院との関係もありますので、西側から来る車の道路を今後どのように考えているのでしょうか。常滑方面や板山方面などですが。

○榊原康仁建設部長

病院の場所が変わりますので、今後の交通量や車で来るルートは何があるかなどは見直しをして、例えば常滑との連携で、ある導線で交通量が多くなる見込みとなりその導線の道路の整備が必要であればそれに合わせて整備していくことになります。なので、半田病院へのアクセスとして必要であると判断ができればそれに応じて対応していくことになります。

○成田吉毅委員

運動公園に上がっていく道は拡幅するわけですよね。拡幅するとなると、そのあたりの田畑の地権者から買うことになると思うのですが、道路に限らずその話はされていますか。

○村瀬浩之土木課長

公園の代替施設を作るということで、スポーツ課で交渉をしている最中です。

○成田吉毅委員

それで、代替施設も含めて道路のことも、この辺り一帯の方たちにされているということでしょうか。

○村瀬浩之土木課長

おっしゃるとおりです。

○鈴木幸彦委員

野崎交差点の東、鉄道下の話ですが、以前の委員会ではアンダーにするとプロの感覚でいくと大きくえぐることになるからなかなか難しいと聞きましたが、高さを少しだけかせぐ感覚で、車のタイヤ半分くらい20~30cm下げることなら、仮に水がたまって車の通行は可能ですよね。それぐらいのことは融通が利くのかどうかはどうでしょうか。本格的に下げるのではなく、少し削るぐらいの認識はいかがでしょうか。

○榊原康仁建設部長

鉄道の上を越えて、県道の上を越えていくパターンと、鉄道の下をくぐっていくパターンと、鉄道を高架するパターンの3つを前回の委員会で事例としてお出ししましたが、愛知県が考えているパターンで、下をくぐろうとすると、高低差がないように滑らかな曲線で描こうとすると鉄道のところどころで下がってしまいます。私たちの感覚でいきますと、先ほどの2.5mをクリアすればいい。現在は2.3mが通れて、余裕高を見て約2.5mあるという状況の中で、土木課長と話していた中では私たちとしては10cm、20cm下げれば通れるようになるので、環状線が整備するのに10年、20年かかるのであれば、暫定的に救急車が通れる導線を確保するというのも考えていかなければいけない。その時には、10cm、20cm下げさせてもらいたい。その時には、鉄道と町道のことなので名鉄と阿久比町にお願いしなければいけません。

○鈴木幸彦委員

もちろん阿久比町の協力もあつての話ですが、これは規則的に無理だよという話ではないと認識してよろしいでしょうか。

○榊原康仁建設部長

物理的にはできると思います。下がった時に水がたまるので、横の水路に繋いでおけば普通の雨なら排水できるので大丈夫ですが、大雨のときに水路が溢れたときに逆流する、また、低い土地なので浸水した時にどうするかですが、浸水しないように例えばポンプを設置して水路に強制的に排水するなどには可能なので、やれないことはないと思います。しかし、これ

は鉄道の橋梁の地盤の問題もありますので、名鉄や阿久比町の協力が要ります。

○鈴木好美委員

本日の資料の終町5の交差点の写真、西側の道路幅ですが、大きい車両だと3台分並ばない状態になっていますが、アパート側を削るのでしょうか。

○村瀬浩之土木課長

完全な右折レーン、時速何キロのスピードで走行して、2.75m必要という話を厳密にし出すとそれはなかなかできませんが、ゆっくりであればある程度幅が狭くても並べられるので、現在も1.5車線に近く、完全な2車線を確保できていませんが、それが原因で渋滞になり通れないことはないという考えで行っています。交通量と道の広さなどを踏まえて、道路を決めており、この道路は交通量、止まる台数が少ないのでそれに合せて行っています。

○鈴木好美委員

左側には、違法駐車用のポールがあるのでそれもなくなることでいいですか。

○村瀬浩之土木課長

違法駐車用のポールが将来的に必要であるなら、考えなければいけません。ある程度人が通れる場所を確保しなければならないと思います。ある幅の中で有効に使い、できるだけ言い道路にしたいと考えています。

○岩田玲子委員

今日視察した道路についてはよくわかり、使いやすくなるのかなと思いましたが、3点ほど道路について問題点があると思っています。まず、半田大橋から住吉駅へ行く幹線道路で、名鉄の踏切が問題で、住吉駅から1本南に行った住吉郵便局からモスバーガーに抜ける道を使わないと早く行けないと思います。そこも含めて整備できれば2本立てでできると思います。次に、半田口の交差点の拡幅の点で、車が左右に行けるようになれば問題が少しはクリアされると思います。次に、野崎の交差点の東の名鉄高架の部分ですが、先ほどの鈴木幸彦議員の意見のように少し阿久比町がご協力していただけることでしたら、やっていかなければならないし、自分たちでできることがあるとすれば、救急車を20cm下げた車両を作るのも考えるべきで、その先の橋の拡幅も考えなければならなくて、今のままでは横幅が狭いので、救急車が通れるような橋の確認をしたいと思います。

○中川健一委員長

ただいまの岩田委員の意見で、半田口の拡幅は具体的にどこまで作業しているのかなど現状が分かればお願いします。

○村瀬浩之土木課長

その部分については、県が事業主体の事業で、ずいぶん長いことやって止まっている状態です。視察中に山本半治委員がお話ししていたとおり、踏切を渡ったすぐに右折車線が狭まった状態になっていますので、その右折を作るためには、1名の地権者の方の移転が必要になりますので、それを県は事業は継続中ですが、実際に交渉に行っているかどうかはわからない状態で、今年に入ってから何回も確認をしているところで、今度話に行きましょうと県と調整しています。県に任せていても進まないなので、私たちも一緒に交渉に行きましょうとお願いをしているところであります。

○中川健一委員長

あと1点。住吉郵便局からモスバーガーに抜ける道路を使うという案はいかがでしょうか。

○村瀬浩之土木課長

南北は国道 247 号線で交差する東西道路は半田市道になります。ご存じのとおり、市道側には右折レーンがありませんので、右折車が待機することで、進まないという問題は実際に起きていますので、検討していかなければならないと思っています。

○中川健一委員長

救急車の話は、病院いかがでしょうか。

○大嶽浩幸管理課長

救急車の高さを下げる聞き取りはしていなかったもので、まだ何とも答えられません。

○中川健一委員長

その可能性があるかどうか調べておいていただいて、次回報告をお願いします。

○大嶽浩幸管理課長

ヒアリングした際には、野崎交差点の東のガード下は、確実に通れない。アンテナ含めて 2.5mあるので、厳しいとのこと。救急隊員はそのように認識していました。今の状態だとそこを通る選択肢はないとのことでした。

○新美保博委員

まず感想から述べます。車に乗って通るだけではわからないことも、車から降りて現場を見ることはすごく大事だと感じました。野崎のガード下も通れないだろうと思っていなくても実際には 2.5mありそうで、これなら少し改善すれば通れるのではと思いました。新病院を 7 年後に開設するとなれば、今の救急車を更新する時が来るはず。その時に 2.3m くらいの低い救急車にすれば可能性が出てくる。今までの丈の高い救急車は、成岩や青山の方で使えばいい。少なくとも乙川亀崎の救急車は、丈の低い救急車を配置できるように、救急車を選べばいい。道路を 20cm 下げなくても通れるような救急車を配備すれば、救急の道は確保できます。ただ、阿久比川を渡る橋が大丈夫かという心配はもちろんある。できれば環状線からまっすぐ橋をかけて今のままのアンダーを使い、今のままの野崎の交差点を使える。今のままでやれないことはない。これが環状線かと言われると、これは少なくとも環状線ではない。道路幅や高さが取れるわけでもないから、これは環状線にはならない。緊急、救急で使える道路としては、使えないわけではないから、使えばいいということになる。今から 7 年かけて阿久比町長と話をしたら、どうなるかわからないけど話が変わってアンダーでもオーバーでもいいことにするというのも考えていかなければならないだろうが、まず、とりあえず行ける道筋だけは確保できるのであればいいのかなと思う。それと、国道 247 号線は、結局は JR と名鉄の踏切を考えなければそんなに渋滞しない。右折レーンの整備は、7 年間かけて進めていけばいい。7 年後に JR も名鉄も高架になるわけでもない、やらなければならない。新病院が運動公園の方に行くことに決まってしまったから、慌てふためいてどうするかと言っている。鉄道や道路に時間がかかるのは当たり前で、今何をやらなければならないかが大事。そこに病院ができるのであれば、行ける道だけ確保しようということだけ。これを早くやってほしい。何があっても行ける道だけ確保しよう。手立てとして、半田市でできることは都市計画道路北条向山線と国道 247 のことは、半田市が頑張ればできることかもしれないが、環状線は全て阿久比地であって、阿久比町が動かない限りは手出しが出せないというところがネックです。愛知県にお願いしないと、知事が運動公園の方へ病院を持って行くように言うてのことだから、それくらいのことはお願いしたい。これは、協力してやっ

ていかなければならないことで、当局に全部お任せにはできないことなので、せっかく特別委員会を作ったのだから、議会からもこのような協力をしてほしいと愛知県に言わなければならないだろうし、阿久比町にも言うていくべきだと僕は思っている。手立てとして、いきなりこの特別委員会が阿久比町長のところに行くのはどうかと思うし、どのような手順がいいか検討しなければならないと思う。この委員会である程度のことは残したいと思います。

○中川健一委員長

今日の視察を踏まえた意見をおさらいできたかと思えます。これを踏まえて、今後どのように進めていくかご相談をしたいと思えます。しばらく休憩します。

午後 4時13分 休憩

午後 5時01分 再開

○中川健一委員長

委員会を再開します。休憩中に様々なご意見をいただきありがとうございました。協議の結果、次のようなことが概ねまとまったかなと思えますので、今後の予定をまとめさせていただきます。病院が開院する前に、我々半田市議会としてやれることとして、救急車は現在2.5mの高さだそうですが、2.3mくらいの高さの救急車を導入することによって、野崎の交差点のトンネルを通れるようにすることができないか調査研究していくことが1つ目。阿久比町のご協力をいただきながら進める事項として、野崎交差点のトンネル部分を20、30cmくらい削り、現行の2.5mの救急車が通れるようにできないか。もう一つ、その東にある橋を半田市で、救急車が通りやすいようなものに付け替えができないか等々について、阿久比町に相談させていただく。次に、一方で名鉄高架として、国道247号線のボトルネックがありますので、積極的に推進する運動をしていく。最後に、環状線については、現行では病院の開院までには不可能かなということではありますが、これはこれできちっと推進のお願いは長期的観点に立って、進めていきたい。ただし、もしも先ほどの野崎交差点のトンネルから東側の部分で半田市が行うことについて県との協力が得られるということであれば、またその時に環状線のあり方を別の判断にすることも踏まえて取り組んでいきたいということ。だいたい以上のことが概ね皆さんの意見でまとまったと思えますが、これを踏まえて当面の特別委員会の行動としては、まずは愛知県の知多事務所に、環状線の整備について現状どのように考えているかのご意見を伺いに行きます。それについては、市議会が直接行ってもいろいろ問題がありますので、地元の県会議員の方々や建設部長と相談しながら、どのように進めるのかがいいか考えて、次回の委員会で提案していくということです。このようなことが話に出たと思えますが、不足や修正等ありましたらご意見をお願いします。

○新美保博委員

国道247号線の整備を長期的に要求をしていくのは、やっていくべきと思いますが、都市計画道路北条向山線も長期的には、半田口の岩滑中町のあたりの名鉄高架もあるので、一緒に考えていくことが1点加えてほしい。例えば、野崎の交差点につながる部分の整備を半田市の費用でやるのが決まった段階でスタートするとして、途中でオーバーするぞということがあり得るのかな。そこで道路整備した。費用は分からないが仮に5億円だとして、そこに投資するわけです。その投資する費用がオーバーすることによって無駄になるようでは困ってしまう。そのあたりの踏ん切りはしっかりしてもらわないと、せっかく半田市として投資したのに。できるかも難しいのでは。阿久比地に半田市の費用で作ったとしても、何年か

後には、ダメになって投資したものが無駄になるようではいけない。そこを間違えないようにしたい。中途半端がないようにしていきたい。

○中川健一委員長

今の件につきましては、県の知多事務所とよく話し合いをして、握りながらやるということかなと思いますので、そのご指摘の点はきちっと話し合いをしていきたいと思います。その他、修正や補足はありませんか。

○鈴木幸彦委員

今の件で、最終的な腹積もりとして、半田市が全部持つという気持ちはありますが、いきなりそれをポーンと出すより、もしかしたら、阿久比町や県との交渉する中で、負担割合を考えることになってそういうこともあり得るので、いきなり半田市が全部持つよということではなく、そのあたりは含みを持っていったほうがいいのかなと思います。

○中川健一委員長

その点について、みなさんいかがでしょうか。

【「できることならそれがいい」等の発言あり】

そこは交渉ということですね。

○岩田玲子委員

新美委員が仰ってたように、これは救急車のための緊急な要請だということを前面に出してというイメージですよね。

○中川健一委員長

救急搬送のためということですね。鈴木委員から費用のこと。岩田委員から救急搬送のためという目的についてご意見をいただきましたが、それも踏まえて話を進めたいと思います。その他には、ございますか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、今の方向性の中で話を進めていきたいと思います。これで、委員会の方向性はこのように進めますが、最後に次回の委員会の予定を確認させていただきたいと思います。9月20日の13時30分からとなっています。それ以降の日程は決めた方がいいですかね。

○山本半治委員

次の9月20日にしても、次は県との話になってくるわけですので、先方さんや行政との事務的な都合もあると思いますが。

○中川健一委員長

しばらく休憩します。

午後 5時10分 休 憩

午後 5時21分 再 開

○中川健一委員長

委員会を再開します。今出ました話ですと、事前にきちっと市長に話をすることや阿久比町長や県会議員、愛知県の知多事務所などの方々には、事前に順序立てて丁寧に話を進めましょうということが出ました。9月7日に県会議員と愛知県知多事務所との会合があるようですので、それまでに正副委員長で県会議員に事前に相談して、今後の進め方を調整することです。その他何か補足や修正はありますか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、以上で本日予定しました議事は全て終了しました。本日の委員会はこれにて閉会致します。

午後 5時22分 閉 会